

近畿ブロック搬出訓練

セルフレスキュー(櫓)

本年度のセルフレスキュー訓練(櫓)につきましては、参加者6名の方に御参加頂き訓練を行ないました。

訓練のメインメニューと致しましては、リード墜落時のカウンターレスキューを行ないました。

想定は、リードが滑落し負傷、自力では動けない状況。ロープは半分以上出ており、ローダウン出来ない想定です。上記状況においてレスキュー方法はいくつかあろうかと思いますが、今回は救助隊@大阪が全国の救助隊交流会で行なった方法にて訓練を行いました。

内容的には、カウンターを利用しスピーディーにセカンドがトップの所まで到達し、介助懸垂にて降下を行なうものです。この方法はとにかくレスキューに要する時間が早いです！！

櫓横の緩斜面にてデモの後、櫓を利用しクライミングの状況を再現し、ロープに実際のテンションを入れた状態で救助活動を行って頂きました。

又、今回は参加者の方々に見るだけの訓練でなく、全員に体験して頂く事を一つの目標としており、救助役と要救役のそれぞれを全員に体験して頂きました。

残りの時間にてセカンドレスキューを行い、一日の訓練が終了致しました。お疲れ様でした。

参加者の皆様、いかがでしたでしょうか？何か一つでも持って帰って頂ければ成功？かと思えます。

来年の近畿ブロック講習会でも、何か新しい内容も加えて実施出来ればとスタッフ一同で考えておりますので、皆様ご参加の程、宜しくお願い致します。

最後に、参加者の皆様、及びスタッフの皆様一日ありがとうございました。

(このはな山の会 水川 洋)